

TMN-5000

無溶接式伸縮継手

構造 ■溶接を用いずにベローズを組み込んだ構造
■接液部はステンレスとなります。

用途 ■振動吸収、排気管及び各種低圧配管に使用

特長 ■低圧の排ガス、エア等の配管に適しています。
(気密性を要求される場合は内ガスケット(パッキン)が必要です。)
■内筒無し型も製作可能です。

符号	部品名称	材質
1	ベローズ	SUS304・SUS316・SUS316L他
2	フランジ	SS400・SUS304・SUS316・SUS316L
3	内筒	SUS304・SUS316・SUS316L他
4	取付金具	SS400・SUS304
5	セットボルト・ナット	SS400・SUS304

フランジはJIS2K、JIS5K、JIS10K、JISF7805等取付可能です。

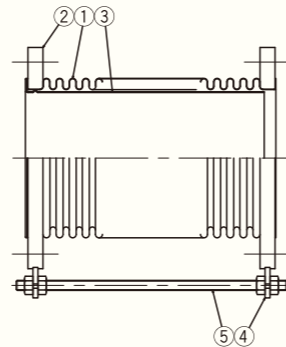
●製作口径 20A~1500A

低圧用(標準面間以外も製作可能ですのでお問い合わせ下さい。)

口径	標準面間(mm)	口径	標準面間(mm)	口径	標準面間(mm)
20A	150	350A	300	950A	350
32A	150	400A	300	1000A	350
40A	150	450A	300	1050A	350
50A	150	500A	300	1100A	350
65A	150	550A	300	1150A	350
80A	150	600A	300	1200A	350
100A	200	650A	300	1250A	350
125A	200	700A	300	1300A	350
150A	200	750A	300	1350A	350
200A	200	800A	300	1400A	350
250A	200	850A	300	1450A	350
300A	200	900A	300	1500A	350



(サイズによって内筒形状が変わります)



高圧ガス保安協会(KHK)の委託検査受検品

フレキシブルメタルホース、ゴムホース、フッ素樹脂ホース(PTFE、PFA)、シリコンホース、伸縮継手(金属製)



TMN-1000
(10K用)

無溶接式防振継手 国土交通省仕様振動吸収型 10K用/20K用

構造 ■溶接を用いずにベローズを組み込んだ構造
■接液部はステンレスとなります。

用途 ■振動吸収、排気管及び各種低圧配管に使用

特長 ■2層ベローズ構造により振動吸収性、耐圧性に優れています。

符号	部品名称	材質
1	内ベローズ	SUS316L
2	外ベローズ	SUS304
3	フランジ	SS400・SUS304他
4	タイロッドボルト	SS400・SUS304他
5	緩衝材	ウレタン等
6	座金	SPCC・SUS304
7	取付金具	SS400・SUS304
8	調整ナット	SS400・SUS304

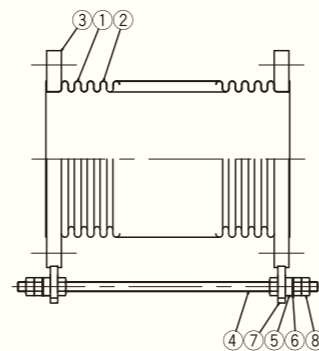
●製作口径 50A~300A(32A、40A)(350A~500A)

10K用標準面間及び製作可能面間

口径	標準面間(mm)	製作可能面間(mm)
50A	150	100~200
65A	150	100~200
80A	150	100~200
100A	150	100~300
125A	150	100~300
150A	150	100~300
200A	200	100~400
250A	200	100~400
300A	200	100~400

20K用標準面間及び製作可能面間

口径	標準面間(mm)	製作可能面間(mm)
50A	110	100~200
65A	110	100~200
80A	110	100~200
100A	150	100~300
125A	150	100~300
150A	150	100~300
200A	200	100~400
250A	200	100~400
300A	200	100~400



高圧ガス保安法

高圧ガスによる災害を防止するために、高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱及び消費並びに容器の製造及び取扱を規制するとともに、民間事業者及び高圧ガス保安協会による高圧ガスの保安に関する自主的な活動を促進し、もって公共の安全を確保することを目的とする。

高圧ガス設備には、配管の伸縮や振動の緩和や接続の容易さ等の目的に金属製伸縮継手・金属製フレキシブルホース・ゴムホース・フッ素樹脂ホース(PTFE・PFA)・シリコンホース等の「可とう管」が使用されるが、これらの「可とう管」については省令上、明確な技術基準が定められていない。また、高圧ガス保安協会では、特定設備に該当しない高圧ガス設備を昭和60年10月1日より「高圧ガス設備試験等規程」により検査を実施しているが、現状、「可とう管」についてはこの規程の対象外の高圧ガス設備として取り扱われている。

高圧ガス保安協会では、都道府県が実施する完成検査において「可とう管」の耐圧/気密等の性能確認を求められた場合には、委託検査として実施し、省令上の技術基準に対する適合性評価を証明している。

可とう管の種類と特徴

種類	ホースの種類	特徴
ホース 又は チューブ	金属製	(1)通常フレキシブルチューブとかフレキホース等と呼ばれフレキシブルなステンレス製の波形管の外周を金属製のブレードで補強したものが使用される。 (2)低圧用で外周をブレード等で補強しないものもある。
	ゴム製	(1)LPG用等の高圧ホースに使用される。 (2)容器と調整器、または容器と高圧集合装置の接合用に使用される。 (3)第二種液化石油ガス器具類にも指定の高圧ホースが使用される。
	フッ素樹脂 又は シリコン等	(1)フッ素樹脂やシリコン等の耐食性の高いフレキシブルな管の外周をPVDF繊維・金属製のブレードで補強したものが使用されている。 (2)低圧用ではフッ素樹脂やシリコン等のみで、ブレードで補強しないものもある。
継手	伸縮継手	(1)固定管板式熱交換器や配管に発生する熱応力の緩和等に使用される。 (2)伸縮継手の構造としてコントロールリングを有するものと、無いものがある。 (3)伸縮継手はホースやチューブと異なり特定則に強度計算式が定められているので、通常設計圧力の4倍の圧力で行う加圧試験は不要である。